

9月16日、台風で延期になった講演会がいよいよ開催です！

おまたせしました！

沖縄から海を越えて

感動体験がやってくる！ だ い い ち

佐伯発！ 国民文化祭プレ公演



琉球の笛や太鼓の演奏と歌も聴けます！

沖縄県文化芸術振興
アドバイザー(演出家)

平田大一氏 講演会

「人づくりの種をまく」

～感動体験夢舞台

弥生文化会館

1 / 2 7 (土) 午前 9 : 30 開場

オープニングアトラクション

佐伯市民ミュージカルの合唱「ドントの歌」

■ 10 : 00～講演会 (90分)

★笛や太鼓の演奏も交えた講演会です

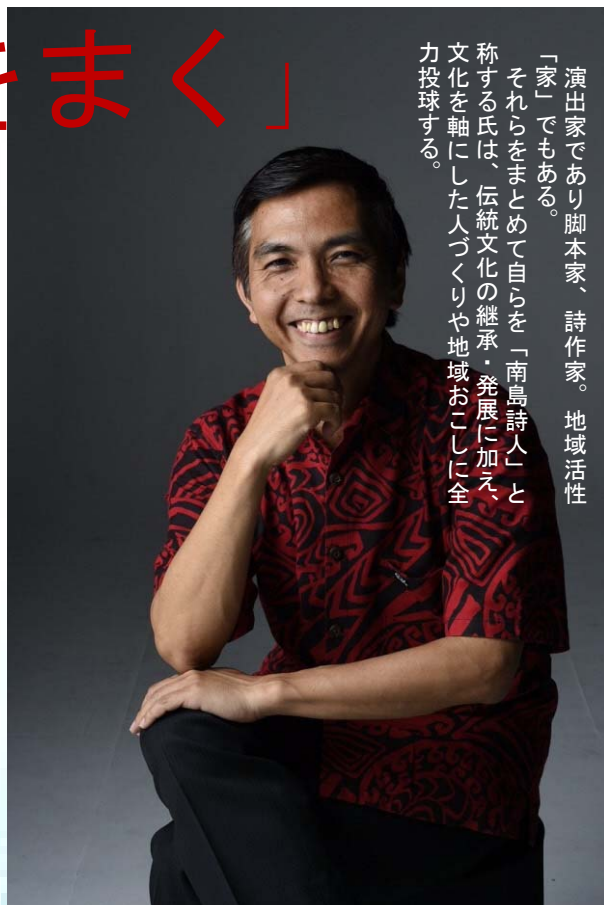
★講演会のみ参加もOKです！

■ 13 : 00～演劇ワークショップ

(ワークは60分あります。ワークのみ事前申込が必要)

—**入場無料**—

演出家であり脚本家、詩作家。地域活性「家」でもある。それらをまとめて自らを「南島詩人」と称する氏は、伝統文化の継承・発展に加え、文化を軸にした人づくりや地域おこしに全力投球する。



1968年沖縄県小浜島出身。大学卒業後、「小浜島キビ刈り援農塾」を主宰、文化を基調とした地域活性化を一生の仕事と決める。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に抜擢、2013年から4年間「(公財)沖縄県文化振興会」の理事長に。

現在は沖縄文化芸術振興アドバイザーとして新たな地域活性化のモデルづくりのトップランナーとして更なる挑戦を続ける。「内閣府沖縄振興審議会」にも在籍。49歳。



佐伯市民ミュージカル「タカラとワカ海を越える軌跡」発会式

来年、国民文化祭・おおいた2018、全国障害者芸術・文化祭おおいた大会が開催されます。佐伯市では、分野別事業のひとつとして、市民ミュージカルを行います。

平成29年12月8日に佐伯文化会館で発会式が行われ、子どもから大人まで総勢100名を越える舞台づくりに挑戦します。

公演予定日は平成30年11月24日(土) 14時開演 佐伯文化会館 平田大一さんにも演出協力をいただきます！



現代版組踊「肝高の阿麻和利」 沖縄県うるま市の中高生による舞台。脚本/嶋津与志、演出/平田大一。初演は2000年。国内のみならず海外公演も行い、観客動員数は延べ12万人を超える。中高生による舞台としては驚異的なロングランを続けている。2009年には日本ユネスコ協会連盟「第1回プロジェクト未来遺産」に登録された。

主催/佐伯市教育委員会 お問い合わせ/社会教育課生涯学習推進係 TEL 22-3245
協力/佐伯市子どもミュージカル実行委員会・NPO 法人さいき劇場・夢まち実行委員会